



学校だよりNO31

令和3年11月19日

児童数 473人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

郡山一中学区 地域学校保健委員会 その2

先日の会の中で、外部講師から教えていただいた「家庭でのルールづくり」のマニュアルを以下に示しますので、() 内に話し合ったことを入れてルール作りをしてみてください。

- ① 利用は1日() 時間までにする。睡眠時間を1日() 時間確保する。
- ② () は、使いません。
※ 例：食事中、人が話しているとき
- ③ ネットやゲームで他人とつながることのルール
()
※ 例：だれと、いつ
- ④ してはいけないこと
()
- ⑤ スマホやゲーム機ばかりでなく() をする。
※ 例：別の遊び、会話
- ⑥ もしも、ルールが守れなかったときは
()

また、ルール作りの際のポイントとして、以下の点を教えていただきました。

- ① インターネットの利用目的やリスクについて話し合いましょう。
- ② ルールを押し付けず、なぜルールが必要なのかを理解させましょう。
- ③ 上記のように、具体的で分かりやすいものとしましょう。
- ④ 子どもの知識や能力に応じてルールを少しずつ見直しましょう。
- ⑤ 相手の家にもルールがあることを理解させ、友だちとも話し合いをさせましょう。
- ⑥ 何かあったら、必ず保護者に相談させましょう。

スマホやタブレットなどはとても便利なものです。しかし、その便利さの裏には、危険性も潜んでいます。

SNSを通じた暴力的な言葉や悪口によるいじめなどに、気を付けなければなりません。対面して話をするときとは違って、誤解が生じやすいという特性があります。また、ゲームや動画などは楽しいものですから、長時間の使用となってしまう、依存症になってしまうということもあり得ます。さらに、インターネットはだれが見ているか分かりません。個人の特定につながる情報を安易にアップさせないようにしましょう。その後、犯罪等に巻き込まれる危険性が十分にあり得ます。

使用の目的等をはっきりさせて、上手にスマホとつきあわせたいものです。そして、大人がその手本となる行動をすることが、一番大切なことだと思います。ご家庭でも、子どもたちとの話し合いの場をとっていただけるとありがたいです。